

おくたま

町議会だより



144号

平成20年2月5日  
発行 奥多摩町議会  
電話 (0428)83-2111

## 議会の構成がかわりました

引き続き、町民皆様のご支援をお願い申し上げます。

就任にあたって

議長 小澤 春義

副議長 前田 悦男

昨年12月の臨時議会において、正副議長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、皆様のお力添えをいただき、ご期待にこたえられるよう、全力を尽くす覚悟であります。皆様よろしくお願い申し上げます。

昨年は、台風9号による今までにない記録的な豪雨がこの町を襲い、多くの地域に被害が発生し、全面復旧に向けて努力しているところでございます。しかし、奥多摩の特産物である山葵田等の被害がひどく、復旧作業には時間がかかるようではありますが、一日も早く復旧ができるように頑張りたいと考えております。

今年も、小さな町村にとつては厳しい財政状況は変わらないと思いますが、そのような状況の中で、皆様すでにご承知のとおり、町では大型事業であります「下水道事業」が始まっております。皆様のご協力により工事も順調に進んでいきますので、一日も早く完成

させたいと思っております。また、上水道の都営一元化の問題であります。東京都へ移管していただくために、林田 武都議会議員を中心にして東京都に交渉を行っているところであり、一日も早く都営一元化が実現できますよう頑張りたいと思っております。

観光事業においては、グリーンツーリズム事業もスタートし、セラピー事業の工事も始まり、これらの事業が奥多摩観光の目玉になり、観光事業の発展に繋がっていききたいと大いに期待するところであります。反面町では、少子高齢化を始め多くの難問が山積みされておりますので、一つひとつ解決すべく努力をしながらと、考えを新たにしたいところでございます。

どうぞ町民皆様の変化らぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

# 議員一覽

1番	師岡 伸公	8番	鈴木 賢一
	小丹波 379 1		氷川 701
	(85) 1373		(83) 2350
2番	酒井 正利	9番	清水 典子
	留浦 1491		棚沢 777 1
	(86) 2002		(85) 1131
3番	原島 伸行	10番	澤本 章
	棚沢 22 1		丹三郎 270
	(85) 2105		(85) 2138
4番	須崎 眞	11番	師岡 智
	大丹波 887		川井 423
	(85) 2182		(85) 2318
5番	増田ひさ子	12番	前田 悦男
	氷川 1774		氷川 160
	(83) 2663		(83) 2363
6番	竹内 和男	13番	小林 勤
	川井 151 1		丹三郎 25 1
	(85) 2454		(85) 1572
7番	小澤 春義	14番	島崎 利雄
	氷川 863 2		境 93
	(83) 3560		(83) 2004

## 第2回臨時町議会

第2回臨時会が11月29日に招集され、次の4議案が可決されました。

特別職の職員の給与に  
関する条例の一部を改  
正する条例

教育委員会教育長の給  
料等に関する条例の一  
部を改正する条例

一般職の職員の給与に  
関する条例の一部を改  
正する条例

これらの条例は、東京都  
人事委員会の勧告に基づ  
き、特別職及び一般職の期  
末手当等の、現状に見合っ  
た支給額への改正を行っ  
たものです。

一般会計補正予算

(第3号)

歳入歳出にそれぞれ700  
万円を追加し、予算の総額  
を57億4千477万円とした  
ものです。

### 第3回臨時町議会

12月3日、第3回臨時議会が召集され、正副議長の選挙をはじめ、各常任委員会委員、一部事務組合議会議員の選任等、次のとおり決定しました。

下水道事業特別委員会  
島崎 利雄 酒井 正利

竹内 和男 清水 典子  
師岡 智 前田 悦男

(一部事務組合議会他)  
秋川衛生組合議会議員  
酒井 正利 増田ひさ子

澤本 章  
三多摩上下水及び道路建設促進協議会委員

理事 小澤 春義  
第1委員会(上水)  
須崎 眞

第2委員会(下水)  
島崎 利雄  
第3委員会(道路)  
師岡 智

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会委員  
小澤 春義 鈴木 賢一

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会委員  
小澤 春義 鈴木 賢一

首都圏中央連絡道路建設促進協議会委員  
小澤 春義

多摩川南岸道路建設促進協議会委員  
増田ひさ子 原島 伸行  
師岡 伸公 須崎 眞

鈴木 賢一 澤本 章  
小林 勤

議会だより編集委員会委員  
前田 悦男 原島 伸行  
竹内 和男 清水 典子

島崎 利雄  
表彰審査委員会委員  
小澤 春義 鈴木 賢一  
師岡 智 前田 悦男

青少年問題協議会委員  
師岡 伸公 澤本 章  
小林 勤

下水道事業運営委員会委員  
酒井 正利 島崎 利雄

健康づくり推進協議会委員  
竹内 和男

国民健康保険運営協議会委員  
師岡 智

公害対策審議会委員  
師岡 伸公 酒井 正利  
増田ひさ子 鈴木 賢一

小林 勤

小口事業資金融資制度等審議会委員  
原島 伸行 竹内 和男  
清水 典子

消防団員等公務災害給与金支給審査委員会委員  
師岡 伸公 澤本 章  
小林 勤

水道事業運営委員会委員  
原島 伸行 竹内 和男  
師岡 智

奥多摩観光協会役員  
小澤 春義(顧問)  
須崎 眞 清水 典子  
島崎 利雄

西多摩地域広域行政圏協議会審議会委員  
小澤 春義 鈴木 賢一  
前田 悦男

三か町村議会議員広域連絡協議会委員  
小澤 春義 酒井 正利  
須崎 眞 増田ひさ子  
鈴木 賢一 澤本 章  
師岡 智 前田 悦男

島崎 利雄

青梅商工会議所顧問  
小澤 春義

大多摩観光連盟参与  
小澤 春義

奥多摩・檜原間林道鋸山線改修都道編入促進協議会委員  
須崎 眞 増田ひさ子  
小澤 春義 鈴木 賢一  
師岡 智 前田 悦男

国道139号松姫トンネル建設促進連絡協議会委員  
小澤 春義 師岡 智  
前田 悦男

今後2年間、以上の構成で町の諸課題に取り組んでまいります。  
町民皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

議会運営委員会  
澤本 章 小林 勤  
増田ひさ子 鈴木 賢一  
師岡 智 島崎 利雄

経済厚生常任委員会  
師岡 智 須崎 眞  
原島 伸行 竹内 和男  
小澤 春義 清水 典子  
島崎 利雄

総務文教常任委員会  
鈴木 賢一 増田ひさ子  
師岡 伸公 酒井 正利  
澤本 章 前田 悦男  
小林 勤

経済厚生常任委員会  
師岡 智 須崎 眞  
原島 伸行 竹内 和男  
小澤 春義 清水 典子  
島崎 利雄

## 第4回定例町議会

第4回定例会は、12月12日から20日までの会期9日間にわたり開催されました。

### 町長提出

#### 議案と結果

次の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決又は同意しました。

#### 条例等

福祉会館条例の一部を改正する条例

#### 工事変更契約

奥多摩処理区下水道管渠建設工事その4

変更前の金額

2億2千365万円

変更後の金額

2億2千279万3千200円

奥多摩処理区下水道管渠建設工事その5

変更前の金額

1億3千755万円

変更後の金額

1億3千723万2千900円

奥多摩処理区(単独)下水道管渠建設工事その5

変更前の金額

5千88万3千円

変更後の金額

5千56万8千円

#### 人事

監査委員(議会選出)

議会選出監査委員、澤本章議員の任期満了に伴い、その後任として清水典子議員を選任することに同意しました。

(12月12日就任)

会計区分(補正回数)	補正額	補正後の額
一般会計(4)	19,467千円	5,764,237千円
都民の森管理運営事業特別会計(2)	予算科目間の組換	68,955千円
山のふるさと村管理運営事業特別会計(2)	予算科目間の組換	156,272千円
国民健康保険特別会計(2)	27,257千円	760,613千円
介護保険特別会計(2)	2,468千円	697,712千円
下水道事業特別会計(2)	予算科目間の組換	1,149,300千円
病院事業会計(1)	収益的収支	1,225千円
水道事業会計(1)	収益的収支	481,225千円
	資本的収入	1,231千円
	資本的支出	1,710千円
	1,710千円	74,669千円
		153,617千円

補正予算

### 陳情の取り扱い

趣旨採択としたもの

保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書採択に関する陳情

「非核日本宣言」を日本政府に求める意見書採択に関する陳情書

原爆症認定制度の抜本改善を求める意見書採択に関する陳情書

不採択としたもの

福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情書

# 問 質 一

## 山のふるさと村流用問題・観光振興等について質す！

19年12月議会では、18日の第2日に7名の議員が質問を行いました。(通告順)

島崎利雄議員

山のふるさと村不正流用事件について

(答) 司法の手により、全容解明に向け前進するものと考えている。今後再発防止に努め、住民の信頼を回復していきたい。

島崎 すべての情報の公開と、説明責任を。

全容解明は町の責任で調査委員会を拡充し実行力あるものに。再発防止のために第三者委員会機関の設置を。

町長 事件の調査報告については、広報おくたま特集号や町のホームページを通じて、今後の対応等を含め随時お知らせしてきた。また、保有する情報の公開を求める町民の権利を保障するため、「奥多摩町情報公開に関する条例」に基づき、適切に文書の公開を行っている。

町の調査委員会では調

査の権限の問題等限界があることから、法律事務所

の指導をいただき、去る8月17日に警視庁に告訴状を提出し、受理された。司法の手に委ねられたことにより、全容解明に向け前進するものと考えている。

東京都へ提出した「山のふるさと村管理運営に係る報告書」に盛り込んだ、全5項目、33に及ぶ改善策を一つひとつ着実に実施していくことで再発の防止に努めてきた。今後も職員意識改革、会計処理の総点検、委託方法等の事業運営の見直しを推進し、再発の防止と住民の信頼回復に努めていきたい。

少子高齢化対策の強化を

(答) 出産祝金、手当等の創設、住宅使用料の引き下げは考えていない。ゴミ手数料、外出支援の問題は検討、研究する

島崎 若者が安心して結婚、出産できる出産祝金の復活を。若者定住手当の

支給制度を。町営住宅家賃の引き下げを。若者定住化対策としても。ゴミ手数料は一人暮らしの高齢

者は無料に。お年寄りの方からも不公平の声が強い。足の悪い方などに戸別収集も。低料金のワゴンタクシーを町役場、銀行、病院や買い物などにつかえる制度の充実を。

町長 出産祝金は、所期の目的を達成したこと、子ども医療費の助成事業に移行したことから、廃止とさせていただいた。今後の復活、並びに若者定住手当等の支給制度の創設は、今のところ考えてはいないが、子育てしやすいよりよい環境整備を、来年度に向け構築していきたい。

公営住宅法に基づき運営している住宅は、所得に応じた使用料となつていますが、町営住宅使用条例に基づき運営する住宅は定額制であり、家賃引き下げは困難と考える。しかし、若者の定住化対策と子育て支援対策として、今後住

宅使用状況等も調査し、総合的に援助できるよう検討していきたい。

負担の公平性から、一人暮らしのお年寄り家庭に對する一律の軽減は現状では困難。ゴミ量に応じた手数料負担となる指定袋による収集については、現在情報収集に努めている。また、収集方式についても、ステーション方式と戸別収集方式の検討を含め、調整作業を進めている。

現在社会福祉協議会へ委託し実施している外出支援サービスは、町内の医療機関への通院に限り、無料です。有償で乗り合い運行を行うには、道路運送法に基づく登録を行わなければならず、外出支援サービスを拡大して実施するのではなく、新たな事業として創設しなければならぬ。従って、高齢者の皆さんにとって、真に必要な外出支援は何か、新たなシステムの構築に向け、今後も研究していきたい。

## 小林 勤議員

都返還金に関する町提訴の裁判について、住民に中間報告を

（答）裁判の進行状況により、一定の段階で報告を行いたい

小林 裁判に差し支えない部分が多々あるはずであり、住民に中間報告を行い、住民に理解を求めるべきである。

町長 係争中であり、現段階での報告は差し控える。裁判の日程は、口頭弁論の終結が20年4月、判決が6月になる予定であり、一定の段階で報告をさせていただきます。と考えています。

住民訴訟に関して町としての対応について、中間報告を

（答）既に2回の審理が行われているが、一定の時期に報告を行いたい

小林 住民監査請求があり、その結果に基づいて住民訴訟が提訴されているが、町としての対応を住民に対して中間報告をすべきである。

町長 8月23日に東京地方裁判所より訴状を受け取ったが、その主な内容は、「町は町長個人と副町長個人の二人に対し、先に東京都に返還した4千746万5千578円とその後の利息を含めて請求せよ」というものである。既に10月9日と11月21日に審理が行われている。その対応等については、裁判中であるので控えさせていただくが、一定の時期にご報告させていただきます。と考えています。

住民による訴訟の報告について

（答）裁判を通じて明らかにしたいと考えているので、答弁は控えさせていただきます。

小林 町文書管理規程中の報償費の決裁権者は副町長とあるが、この解釈でよいのか。8月17日に、町は2名を刑事告訴しているが、決裁権者は誰か。財務会計上の行為を行う権限は町であり、当時の町長は大館誉氏とあるが、解釈に間違いはないか。第1回公判では元収入役と主任に、第2回では前町長に、責任を転嫁するような方向になってきているように思われるが、自分の責任をないがしろにしているか。

町長 奥多摩町文書管理規程の目的は、「文書類の收受及び配布、文書類の作成、発送及び保存、その他の文書事務の処理について基本的な事項を定めることにより、文書事務の適正かつ能率的な処理を図ること」を目的としている。報償費は、第29条、別表3で規程されており、決裁区分はすべて副町長（当時は助役）となっている。ご質問の決裁権者、財務会計上

の行為を行う権限等については、現在裁判中であり、裁判を通じて明らかにしたいと考えているので、答弁は控えさせていただきます。

町長の政治姿勢を問う

（答）裁判を通じて明らかにしたいと考えているので、答弁は控えさせていただきます。

小林 住民の報告によると、公判の準備書面の中で、町議会、愛護会、職員や都から指摘がなかったから知らなかった、だから責任はないと言っているようだが、見過ごした責任の方が重大である。責任の転嫁が続く限り町の信頼回復は程遠い。町長の姿勢を改めて問う。

町長 ご質問の内容は、去る10月9日に東京地方裁判所で開かれた、住民訴訟の第1回口頭弁論における町の主張を述べられていると思うが、現在裁判中であり、裁判を通じて明らか

かにしていきたいと考えているので、答弁は控えさせていただきます。

竹内和男議員

住環境整備の日照権確保対策事業要綱の見直しについて

（答）花の里づくり事業等の積極的な活用を図りたい。年間予算の確保については積極的に取り組んでいきたい。

竹内 より快適な住環境の向上と、周辺住民の定住化促進を図るため、奥多摩町日照確保対策事業実施要綱の助成額と実施基準の見直しを図りたい。各地域での要望が多い。年間予算の増額をお願いしたい。

町長 伐採する立木1本当たりの助成額は千500円となっており、花の里づくり事業、町道、林道工事等

の補償額と同一基準になつてゐる。また、平成17年度からより効果的、効率的に事業が実施できるよう、日照確保対策事業で伐採した森林を、その後花の里づくり事業を実施した場合に限り、地場産材活用対策奨励事業の対象地として奨励金を交付している。森林所有者への財政面での配慮が図れることから、事業の活用をお願いしたい。

事業の現在の実施基準は、1箇所当りの伐採本数500本以下、受益戸数が3戸以上、日照時間が30分以上となつており、過去に実施した1箇所当りの平均本数が235本、冬季の日照時間にして1時間12分の延長効果があり、実施基準については適当であると考へている。

昨年度に続き本年度も当初予定した伐採本数に達する見込みであり、年間予算の確保については積極的に取り組んでいきたい。

生活道関連事業の進捗状況と完了見通し時期について

（答）台風9号による災害復旧対応等により、今年度の事業が遅れているが、早期に完了するよう努力していく。

竹内 平成19年度で予定している

坂下中央線道路新設  
杉入下線道路新設  
古里附天神林線道路新設

八桑北線道路新設  
松葉沢沢線道路新設  
竹ノ花上線道路改良  
以上6路線の、事業進捗状況と完了時期を問う。

町長 現在用地買収及び物件補償が95%完了し、工事については年明けの東京都の補助金交付決定を待ち、入札し工事を予定している。全体事業の完成予定は、5カ年で平成23年度を目途に事業を進めている。

現在用地買収が80%完了し、工事については年明

けの都の補助金交付決定を待ち、入札し工事を予定している。全体事業の完成予定は、3カ年で平成21年度を目途に事業を進めている。

現在用地買収は内諾をいただいております。用地及び工事については年明けの都の補助金交付決定を待ち、買収及び入札し工事を予定している。事業の完成は、本年度を目途に事業を進めている。

地元説明会を12月中旬に実施し、本年度予定の測量委託について、年明けの都の補助金交付決定を待ち、入札し測量を実施する。全体事業の完成予定は、4カ年で平成23年度を目途に事業を進めている。

現在用地交渉を完了し、全体事業の説明も個々に完了している。本年度の測量委託については年明けの都の補助金交付決定を待ち、入札し測量を実施する。全体事業の完成予定は、4カ年で平成23年度を目途に事業を進めている。

用地買収が完了し、年明

けに工事発注する予定。全体事業の完成予定は、2カ年で平成20年度を目途に事業を進めている。

なお、本年9月の台風9号による災害復旧対応や地権者との協議、自然公園法の調整による設計変更があつた関係で、工事及び用地買収に時間を要し今年度の事業が遅れているが、早期に完了するよう努力していく。

清水典子議員

お年寄りが待ち望む道路整備

（答）長期総合計画により、計画的に整備を進めたい。道路新設、改良、維持工事では、積極的に手すり等を整備していきたい

清水 高齢者や身体に障害を持つ方から、安心して歩ける道路ができないのかとの声を町内各所で耳にする。自治会を通じての

要望も提出されていると思うが、早期に実現できないか。

町長 道路整備を実現するには、地権者のご理解と整備予算が伴うので、長期総合計画による実施計画において、計画的に整備を進めていきたいと考えている。しかし、道路建設は山や谷を削り徐々に延長しなければならず、技術的、経済的に困難な場所もある。このため福祉モノレールや手すり等の設置により、少しでも登り降りの援助となるよう考へている。道路新設工事、改良工事及び維持工事では、積極的に手すり等を整備し、誰もが安心して歩ける道づくりを推進していく。

若者定住化対策の栃久保土地分譲の販売状況は、分譲方法に工夫ができないか

（答）現在は1区画が売却されている。売却の方法等について、貴重な意見であり参考にさせていただく

清水 若者が土地を購入したくても、購入費の手当ができないのが現状。町との契約金は手付金とし、建物の設計等の準備期間を設け、金融機関からの借入れが済んでから残金を支払うなど、分譲の方法に工夫ができないか。

町長 栃久保の分譲住宅地は、8区画を本年8月に売り出し、1区画が売却できた。再度10月にも4社の新聞に掲載、町内外の会社や施設に案内書でPRを行ったが、残念ながら売却までには至らなかった。問題点として、20歳から50歳までの年齢制限が厳しい、面積が少ない、価格が高い、又は通院、通学等の意見があった。

ご質問の、金融機関からの借り入れが土地と建物で二重債務になり負担増になること、購入できる方法等の検討などについては、貴重なご意見であり、今後の参考にさせていた

**奥多摩町水道事業都営一元化の見通しは**

（答）前向きな姿勢が東京都から示されたことに対し、感謝申し上げます。今後は庁内を挙げて東京都と連携していく

清水 水道事業の都営一元化については、町でも町長を始め副町長を中心に検討されてきた。議会としても都へ要望をしてきた。9月の都議会の一般質問で、地元の林田 武議員がこの件で質問され、都は関係局と調整を含めて検討すると答弁しているが、その後の動向は。

町長 ご質問のとおり、都議会議員林田先生に一般質問をしていただき、水道局長から答弁をいただいた。また、11月13日に奥多摩湖畔で開催された小内ダム竣工50周年の記念式典で、菅原東京都副知事がごあいさつの中で都営水道一元化に触れ、「水道局と関係局で検討してい

るところです」とのことばをいただいた。これら前向きな姿勢が東京都から示されたことに対し、東京都議会議員の先生並びに水道局長を始めとする関係者に、衷心より感謝を申し上げます。今後は奥多摩町の都営水道早期実現を目指し、庁内を挙げて東京都と連携していく。

**増田ひさ子議員**

観光地として「スッキリ・はつきり・一目瞭然の観光案内板の設置と観光トイレの管理体制の充実」を

（答）必要な場所が必要とされる案内板等の設置と、近隣住民皆様にもご協力をいただきながら、トイレの清潔保持に努めていく

増田 観光案内板の不備と、観光用トイレが非常に汚れているとの指摘をたくさん

実を図れ。

町長 駅前や登山道等の入口等、分かりやすい看板や指導標の設置に努めているところではあるが、これからも必要な場所に、必要とされる観光案内板等の設置を推進していく。

観光用トイレの清掃については、決して怠っていないわけではない。近隣の住民の方々や業者者に日常清掃を委託し、清潔の保持に努めている。しかし、使用頻度の高さや社会的モラルの低下に伴い、一瞬にして汚れてしまうことも多々あり苦慮している。観光立町を標榜している当町にとつて、観光用トイレは必要不可欠なものである。今後

奥多摩町役場に便座式トイレの設置を  
（答）トイレスペース、経費等を検討し、利用しやすい庁舎管理を進めていく

増田 奥多摩町は高齢化が進み、足の悪い方が増えている。役場庁舎の各階に1箇所、洋式トイレの設置を希望する。

町長 現在庁舎内には、13基の和式トイレと、1階及び地下1階に各1基の便座式トイレを設置している。各階に便座式トイレを設置することについては、現在のトイレスペース、経費等を検討し、今後とも来庁者の皆様の利用しやすい庁舎管理を進めていく。

**原島伸行議員**

古里附及び寸庭の観光資源の整備について

（答）地権者の理解も含め、今後研究、検討していきたい。遊歩道の整備は、事故が起きないように今後維持、管理に努めていく

原島 清見橋上、下流の入川の景観整備を実施で



きないか。小丹波観光用トイレ付近の土地の観光の有効活用を図れないか。寸庭橋から天目指に向かうハイキングコースにかかる木橋等の整備を実施されたい。

町長 町で管理する河川区域外の雑木等の伐採や景観整備は、土地所有者の管理区域とされており、町で直接的に整備を行う範囲ではない。しかし、古里附の滝と清見滝は姿がよく、一見の価値があると思っている。他にも眺望の確保や景観の向上が求められている場所があり、町としても地権者への理解を含めて、今後研究をしていきたい。

周辺の土地は町が所有していないので、地域住民の皆様がどのような形で観光開発を望んでいらっしゃるのか等を伺いながら、調査及び検討を行っていききたい。

このコースは「大多摩ウォーキングトレイル」と呼ばれ、東京都環境局が「吉

野水川線」として整備計画を持っているルートに重なっているため、環境局と現地調査を行い、松ノ木尾根の松枯れ倒木の伐採処理も含め、木橋等の整備についても協議を行い、整備を行った。事故に繋がる恐れのある場所については、誰もが安心して通行できるように、今後も維持、管理に努めていく。

師岡伸公議員

他区市町村との交流事業について

（答）観光事業を始め、環境を活かした体験事業等、多方面の分野にわたり事業を行い、地域間交流を図っている

師岡 第4期長期総合計画にも地域間交流の推進という施策があるが、環境保全の視点、教育力向上の視点、観光・産業発展の視点から、現在までの

事業の内容と成果、今後の事業展開を問う。

町長 昭島市とは平成16年度に市政50周年を記念し、伐採跡地を「奥多摩・昭島市民の森」と名づけ植樹していただいた。武蔵野市とは、同年度に森林整備協定を締結し、シカ被害地の川苔山ウスバ尾根において、「奥多摩・武蔵野の森」と名づけ植樹を行い、今後10年間共同森林整備の体験学習を行う。民間企業である日本航空電子工業株式会社とも連携し、森林の整備に努めているところである。

教育長 他区市町村との音楽発表会や、図工展等連合行事への積極的な参加、短期留学生の受け入れ事業等を推進し、交流の機会を図っている。また、小学生は神津島村への洋上セミナー事業、中学生は海外派遣事業を実施している。

町長 ご質問のように、都民の森や山のふるさと村等への宿泊、企業研修に

よる活用等、都市交流により、今後大いに施設を活用していきたいと考える。

今ある奥多摩の価値ある資産を高めるといふ視点から環境の保全と観光資源の発掘について

（答）森林再生事業を始めとして積極的に推進している。空を眺めるスポットは検討していきたい

師岡 森林再生、景観対策、松枯れ対策、特定外来植物の生態系への被害、以上の状況は、森林セラピ―基地の構想に、空を眺めるスポットを検討できないか。

町長 森林再生事業及び花粉症発生源対策としての枝打ち事業は、毎年積極的に実施している。またそれにより、地域の林業の事業が拡大し、雇用の場や後継者の確保が図れたところである。今年度からは「色彩の道」事業が開始されたので、登山道際等の間

伐や枝打ちが実施でき、眺望を確保するとともに、美しい森づくりができるものと考えている。松枯れ対策としては、予防薬の注入を奥多摩湖畔を始め、登計や数馬峡周辺で毎年実施している。特定外来植物の「アレチウリ」については、水際に近年目につくが、現在大きな被害はない。今後の推移を見守りたい。

今年度から着手した、森林セラピー専用ロード「香りの道・登計トレイル」では、当初の計画段階から、歩くこと以外にも寝転ぶという活動も含まれており、関係者で組織する推進協議会で決定するが、メニューの一つとして検討していきたい。

少子高齢化対策、若者定住化対策の現状について

（答）子育て支援は一定の評価が得られていると感じている。高齢者の健康づくりも引き続き支援していきたい

# 議 会 日 誌

師岡 現在の子育て支援事業に対する評価を問う。古里地区に町営住宅の建設計画は。高齢者の健康維持、健康増進について、今後の対策は。

町長 平成17年度に行つたまちづくりアンケート調査の結果によると、健康と子育て創造プロジェクトの満足度が多くなっていることから、一定の評価が得られていると感じている。

町有地の確保や借地、あるいは社宅として建設された住宅の利用等、調査研究していく。

各種がん検診、インフルエンザ予防接種費用助成事業等、今後も継続実施していく。20年4月から始まる特定検診、特定保健指導については、今年度作成する計画に沿って実施していく。介護予防では、筋力トレーニング等の地域支援事業等を今後も継続実施し、各種検診の充実とも併せ、高齢者皆様の健康づくりに支援していきたい。

11 月

- 3日 第22回ふれあいまつり
- 9日 東京都後期高齢者広域連合議会定例会議案説明会
- 11日 第48回加藤旗争奪駅伝競走大会
- 11日 NPO奥多摩力ヌーゼンター設立記念式典
- 13日 小河内ダム竣工50周年記念式典
- 19日 地方分権改革推進全国大会
- オリンピック東京招致決起集会
- 20日 地方自治法施行60周年記念式典
- 東京都後期高齢者広域連合議会定例会
- 北京市友好代表団交流会
- 22日 西多摩地区議長会定例会
- 29日 第2回臨時町議会
- 都道府県議長会会長会
- 30日 第51回町村議会議長全国大会

12 月

- 3日 第3回臨時町議会
- 7日 観光ガイドの会忘年会
- 8日 福祉大会
- 10日 議会運営委員会
- 身体障害者福祉協会忘年会
- 12日 第4回定例会(第1日)
- 13日 連合審査会・各常任委員
- 18日 第4回定例会(第2日)
- 20日 第4回定例会(第3日)
- 25日 西多摩郡町村議会会長臨時総会
- 健康づくり推進協議会
- 26日 東京都町村議会議長会臨時総会
- 7日 青梅商工会議所新年賀詞交歓会
- 西多摩地区議長会賀詞交歓会
- 11日 町賀詞交歓会
- 12日 柔道稽古始め式
- 13日 消防団出初式
- 14日 成人の日の式
- 15日 国民健康保険運営協議会
- 18日 西多摩郡町村議会議長会臨時総会

## 編集後記



暦の上では立春も過ぎ、厳しい寒さの中にもどことなく春の気配を感じるようになってきました。

- 21日 体育協会新年会
- 22日 議会だより編集委員会
- 23日 三多摩地区消防運営協議会第2部会
- 消防団新年会
- 25日 消防関係5団体新春交歓会
- 28日 経済厚生常任委員会(管内視察・留浦いら畑沢ワサビ田)
- 29日 三多摩上下水及びび道路建設促進協議会(第2委員会)
- 30日 三多摩上下水及びび道路建設促進協議会(第1委員会)

広報おくたま12月号でもお伝えしましたが、昨年の11月18日に濱野満議員が逝去されました。議員一同、生前のご功績に対し深く感謝申し上げますとともに、慎んでご冥福をお祈りいたします。

昨秋の町議会議員選挙の結果、4人の新人議員の加入によりフレッシュ感のある新体制のもと、私たち5名が編集を担当することになりました。議会活動のようすを、できるだけ分かりやすく読みやすい紙面になるよう、心を新たにしてい取り組みたいと思えます。町財政も年々厳しくなり、自主財源の確保、経費の削減等、一層の努力が必要不可欠となっております。私たちも議会の立場として、行政、町民の皆様と一体となつて、「まちづくり」に取り組みたいと思えます。

- (前田 悦男) 原島 伸行
- 竹内 和男 清水 典子
- 島崎 利雄